

## 考察

### 1 「麹町小学校に対するアンケート調査」(全保護者対象)について

多くの設問で「あてはまる」と「だいたいあてはまる」の割合が90%を越えているが、昨年度に比べて5ポイント以上増えている設問が6、8、10、11、12、15、20、21と8つある。

設問8「学校は子どもに基礎学力が身に付くよう教え方を工夫して授業を行っている」について昨年度に比べて「分からない」が減り、「だいたいあてはまる」が6ポイント伸び、「あてはまる」と合わせると93%となった。

設問9「学校は、放課後や長期休業中に補充学習などを行い、どの子にも基礎学力が身に付くようにしている。」については、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の割合が6%となった。昨年度、一昨年度から徐々にその割合が減ってきた。夏季休業中の学力育成教室や、一人一人に応じた個別に対応して指導してきたことが要因と考えられる。

設問10「学校は、子供の学力を適切な評価ができるように通知表を工夫している。」について「あてはまる」「だいたいあてはまる」の割合が8ポイント増え、90%となった。今年度から様式が電子化されたことが一因と考えられる。

設問11「学校は、宿題や課題などを適切に与え、家庭学習が充実するように工夫している。」について「あてはまる」「だいたいあてはまる」の割合が9ポイント増加し91%となった。各学年・学級で工夫して取り組んできた等により、昨年の課題を改善できてきた。

設問12「学校は、図書室やコンピュータ室を十分に活用している。」について「あてはまる」「だいたいあてはまる」の割合が7ポイント増え81%になった。昨年度と比べ、学校公開日に図書室やコンピュータの授業を参観できるようにしたことも増加の要因となったと考えられる。

設問20「学校はすべての教育活動において、子供の人権を尊重する姿勢で指導に当たっている。」について「あてはまる」「だいたいあてはまる」が6ポイント増え、91%になった。設問14との関連で道徳教育への取り組みが評価されている。

設問7、12、16については、「わからない」の割合が依然10%以上と高い。それぞれの項目が保護者にはわかりづらい部分があるのが原因と考えられる。学校として取り組んでいることをもっとアピールする必要がある。

### 2 「授業や生活についてのアンケート調査」(5・6年児童)対象について

設問1については、概ねどの教科・領域とも「よくわかる」「わかる」の割合が90%を超えている。今後も児童の興味・関心を引き出し、一人一人の児童が意欲的に学習に取り組めるような授業を展開していきたい。

設問1「理科」について「よくわかる」の割合が、8ポイント増加している。具体的な観察・実験を多く取り入れ、校内研究を充実させた成果が表れたと言える。設問1「算数」について「よくわかる」の割合が、7ポイント減少し、「あまりわからない」の割合が、4ポイント増加している。より丁寧で分かりやすい指導が必要である。

設問2の項目1「授業を進める速さはどうですか。」について「速い」「やや速い」の割合が15ポイント減り、「やや遅い」「遅い」の割合が9ポイント増加している。昨年度より、全体的に学習進度を速くしてほしいという傾向が増した。

設問2の項目4「授業には集中して取り組んでいますか。」について「いつも集中している」「ほとんど集中している」の割合が、7ポイント増加している。項目5「授業で自分の意見や考えを発言したり質問したりしていますか。」について「よくする」「ときどきする」の割合が、7ポイント増加している。項目6「友達と教え合ったり、協力したりして学習していますか。」について「よくできた」の割合が8ポイント増加した。以上の3点から児童の学習への意欲が増加していると言える。

設問3の項目2「学校へ行きたくないと思うことがありますか。」について「ない」「あまりない」の割合が10ポイント増加している。一方、項目1「学校へ行くのは楽しいですか。」について「楽しい」が5ポイント減った。昨年度は、学校へは行きたくないということがあっても、学校は楽しいと思えた児童がいたが、今年度は、学校へ行きたくないと思うことは少ないがあまり楽しいとは思わない児童がやや増えたようだ。

設問3の項目4「一日にどれくらい家庭学習を行っていますか。」について2時間以上の割合が17ポイント増加し48%に増え、30分未満の割合は、15ポイント減少し4%になった。家庭学習の時間が増加傾向にある。